

# 第8回

## '97選抜女子駅伝 北九州大会

□ 期 日 / 1997年1月19日 (日)  
 □ コース / 小倉北区・北九州市役所前—  
 八幡西区・北九州プリンスホテル  
 折り返し 32.8km

一般・大学の部 5 区間 高校の部 6 区間

### 順位

#### 一般・大学の部

1	沖電気宮崎(宮崎)	1° 45'03"
2	京都産業大学(京都)	1° 46'34"
3	天満屋(岡山)	1° 47'01"
4	ダイワハウス(大阪)	1° 47'22"
5	ダイイチ(広島)	1° 48'30"
6	十八銀行(長崎)	1° 48'57"
7	岩田屋(福岡)	1° 49'08"
8	丸久(山口)	1° 49'20"
9	NEC九州(熊本)	1° 50'02"
10	九電工(福岡)	1° 50'26"
11	ベスト電器(福岡)	1° 51'08"
12	日本生命(大阪)	1° 51'15"
13	TOTO(福岡)	1° 51'25"
14	九州女子大学(福岡)	2° 02'54"

#### 区間賞

第1区(4.5km)	浦 紀子(十八銀行)	☆13'26"
第2区(5.9km)	増田 裕美(沖電気宮崎)	19'05"
第3区(5.1km)	下司 則子(九電工)	16'41"
第4区(5.9km)	大宅 美鈴(沖電気宮崎)	19'11"
第5区(11.4km)	川上 優子(沖電気宮崎)	★35'26"

★は区間新、☆は区間タイ

#### 高校の部

1	熊本市立商業(熊本)	◎1° 46'33"
2	筑紫女学園(福岡)	1° 48'59"
3	西京(山口)	1° 49'53"
4	九州国際大付(福岡)	1° 50'29"
5	松山商業(愛媛)	1° 50'56"
6	諫早(長崎)	1° 51'37"
7	神村学園(鹿児島)	1° 52'39"
8	近畿大付福山(広島)	1° 52'53"
9	就実(岡山)	1° 53'36"
10	八頭(鳥取)	1° 53'59"
11	豊見城南(沖縄)	1° 55'38"
12	宮崎工業(宮崎)	1° 56'04"
13	山田(高知)	1° 56'19"
14	柳川(福岡)	1° 57'05"
15	大分女子(大分)	1° 57'14"
16	北九州市選抜(福岡)	1° 58'20"
17	富岡東(徳島)	1° 58'45"
18	鹿島実業(佐賀)	2° 04'00"

#### 区間賞

第1区(4.5km)	中村 里香(熊本市立商)	13'54"
第2区(5.9km)	片淵 恭子(鹿児島)	19'20"
第3区(5.1km)	吉村かおり(西京)	16'52"
第4区(5.9km)	山下ひとみ(熊本市立商)	19'52"
第5区(4.9km)	蔵原さやか(熊本市立商)	★15'38"
第6区(6.5km)	岩下亜由美(熊本市立商)	★20'17"

◎は大会新、★は区間新



4区3.7キロ付近天満屋・原田織江を抜きトップに立つ沖電気宮崎・大宅美鈴

#### 一般・大学の部

### 沖電気宮崎が逆転で連覇 実業団日本一の底力を発揮

前年12月の全日本実業団女子駅伝で日本一になった沖電気宮崎が1区10位と出遅れたが、2区の増田裕美が4位に押し上げ、4区の大宅美鈴の力走でトップを奪取、アンカーのエース・川上優子が余裕のVサインで2年連続4回目の優勝テープを切った。

トップの十八銀行に1分3秒遅れの10位で2区につないだ沖電気は、増田が高校チームを含む13人をゴボウ抜きして4位で3区へ。この時点でトップの天満屋とは39秒差。3区の渡辺峰子がさらに7秒縮めると、4区・大宅が2km過ぎで天満屋をかわし、初めてトップに立った。大宅は33秒の貯金をつくってアンカーの川上につなぎ、優勝を不動のものとした。

大学駅伝日本一の京都産大が最終5区でダイワハウス、天満屋をかわして2位に食い込んだ。

広島日出国・沖電気宮崎監督 「(連戦による疲労や風邪で) チーム編成に苦労したが、こういう状態だからこそ優勝した時のメリットの方が大きい」

増田裕美・沖電気宮崎2区 「冷静じゃなかった。さすがに後半はバテました」

#### 高校の部

### 熊本市立商が独走の大会新V 区間賞4 総合でも2位

熊本市立商が6区間のうち二つの区間新を含む4つの区間賞を奪って独走、大会新記録で3年ぶり2回目の優勝を飾った。一般、高校合わせた総合成績でも、京産大をかわし2位に入る圧倒的な強さだった。

1区は熊本市立商の中村里香が諫早の藤田貴子らを抑えてトップでタスキを渡した。2区では鹿島実の片淵恭子が区間賞でトップへ。しかし、熊本市立商は3区の本田美代子が1.5km過ぎでトップを奪い返すと、4区の山下ひとみ、5区の蔵原さやか、6区の岩下亜由美がいずれも区間賞(蔵原、岩下は区間新)と他チームを寄せ付けなかった。

連覇を狙った筑紫女学園は最終区の山元愛が西京をかわして2位。全国高校駅伝4位の西京は1区の出遅れが響いて3位。全国高校駅伝福岡県大会でアクシデントに泣いた地元の九国大付が4位と健闘した。

志水貢一・熊本市立商監督 「全国高校駅伝は(優勝した)埼玉栄を私が意識しすぎ、選手にもそれが伝わって硬くなり5位に終わった。きょうは強い実業団や大学の力を借りて、駅伝の勉強をしよう」と伝えた」

岩下亜由美・熊本市立商6区 「どれだけやれるかというチャレンジ精神でした」



3年ぶり2回目の優勝を飾った熊本市立商のアンカー・岩下亜由美